

県政戦略会議（9月7日）概要

- 1 開催日時：平成19年9月7日（金） 9：00～9：40
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 出席者：知事、副知事、出納長、各部局長等
- 4 欠席者：観光局長
- 5 議事概要：以下のとおり
（ 議題提出部局説明・回答、 意見・質問）

議題1：「^{うま}美し国 三重」イベント（仮称）基本構想 素案について（政策部） 資料1に基づき説明

「三重を象徴するテーマに基づいた取組」は、すでに地域の中で取り組まれていると思うが、「それぞれの地域の個性を生かした取組」と同時並行で取り組むことは可能なのか。

テーマイベントや地域イベントについて、地域やNPO等から提案が出てくる可能性がある。これらは、「美し国」イベントとして採用してもらえるか。あるいは、推進組織が中心に提案のあったイベントを行っていくのか。

推進組織は主導せず、地域の人にやってもらいたいと考えている。ただ、アドバイザーなどが地域に入りこんでやっていくことはあると思う。

イベントの実施について、ノウハウがないので支援して欲しいというところがある場合、支援してもらえるのか。

NPO等の関連イベントの審査や支援を行う機関もないといけないのではないか。

ノウハウがないところには、人材育成の観点から地域リーダーを育てることも推進組織からの支援として考えたい。

このイベントは、2015年以降の自立・持続的な地域づくりが目的なのか。長期、大規模で地域づくりを進めるのであれば、戦略計画の施策体系をこのような方向に組み替えて、選択と集中で進めないといけないのではないか。

このイベントは、「こころのふるさと三重」づくりプログラムの中心となるエンジンであり、これを中心にして、県事業を巻き込み、大きな方向へ引っ張っていきたい。

事業によっては、既存の県のプログラムとマッチングさせることは必要である。部長が入った県推進本部を設けないといけないと考えている。

世界新体操選手権、全国高等学校総合文化祭は、メインに位置づけられるものだと考えていた。早くロゴとか標語も作ってもらい、統一イメージで打ち出していきたい。まだ、抽象的であり、大至急、イメージの部分を形にしてもらうことを要望する。

推進組織が立ち上がる、年明けには考えたい。

イベントは地域づくりのツールで、これまで一過性に終わり、定着してこなかったのが、人づくりや資源の掘り起こしという考え方は分かる。しかし、この資料をみると、遷宮で来る人をいかに地域に循環させるかという部分のウェイトが強いように見える。地域づくりならもっと地域に大きなウェイトを置き、焦点を絞るべきである。

私たちとしては両面を狙いたいと考えている。

「地域づくり」と「県土づくり」の関係について、今まで議論してきたことを整理する必要がある。

整理して、また、報告する。

熊野古道世界遺産登録5周年はオープニングイベントの一つであり、本体事業に入るべきである。

以上